

2011年度 SSテーマ一覧

教員名	テ マ	概 要
中村	1Q:土佐山田町について	生活圏の土佐山田がどのようなまちであるか調査する。
	2Q:超純水入門	超純水の製造方法について調べる。
杉田	PV(Photovoltaics)とSSD(Solid State Lighting) (太陽電池とLED照明)	震災を契機にエネルギーや電力問題が今まで以上に大きく取り上げられている。そこでこれから工学を学ぶ学生として太陽電池とLED照明をテーマにこの問題を考察する。
高崎	1Q:モデルロケットの製作と打ち上げA	モデルロケットを含む各種資料を題材に個人ワークとグループワークを組み合わせ今後の学習に必要な基本的なスキルの向上の契機とする。
	2Q:モデルロケットの制作と打ち上げB	モデルロケットを含む各種資料を題材に個人ワークとグループワークを組み合わせ、1Qで培った基本的なスキルの向上を目指す。
瀧野	新製品開発	学生に身近な対象製品を選び、買う立場と作る立場で個人演習後チーム演習をする。QFD、QDmなどの手法を使いながら、個人とチームで考え、創造することで新しい新製品が生まれる面白さを体得してもらう。この体験が将来実社会での新製品開発に生かされることを期待する。
		テーマは1Qと同じだが、1Qより時間が取れるので「新製品開発における失敗防止の技術開発」、「コストと品質のバランス」を加える。
水口	1Q:グループワーク	自己紹介、自己発見プログラム等を通して、班の大学生生活設定目標を吟味する。
	2Q:グループワーク	グループでの自分の分担、コンピュータリテラシーを応用し、共同研究を通して、問題発見とその解決策を探る。
酒井	問題解決のスキルを磨く	問題を自ら発見し、効果的に解決する手法について、ケース・スタディーを通してスキルにまで磨き上げることを学習する。また、問題の解決にあたっては、一人ではなく相互依存性のあるチームとして取り組むことを学習する。
島	1Q、2Q 視野を広げ、自分の未来を語ろう	SSとして基礎能力を鍛える。内容は社会常識の涵養に始まり、広く社会に関心を持つようなテーマで授業を行う。具体的には失敗学などをテーマとして、文書資料や映像を用いて演習を行う。
山崎	(1) 親睦と融和を図る	「幸福に必要な3つの条件についてのビンゴゲーム」を通じて、お互いうちとけ、仲良くする。
	(2) プレゼンカを磨く	5つのテーマ(バブルラップ、ツイッター、トヨタリコールなど)から各グループがひとつ選択し、毎回プレゼンを行う。個人発表とチーム発表でプレゼンカの向上を目指す。
柳井	伝える力を鍛えよう	自らの言葉が相手に届くのか、書くということにこだわりながら、自己紹介、キャンパスでの生活、これからの人生設計などを通して体験に 学習する。
小林(泰)	コミュニケーションの楽しさを知ろう！(1Q,2Q共通)	“コミュニケーション”の概念がいかに日常的なものであるかを学び、それがあなたの豊かな生活や充実した大学生生活、さらには、将来、やりがいのある仕事で活躍するための最高の手段であることをクラス全員で楽しく学びます。授業では有力企業の発行する「CSR報告書」を理解することをおして有力企業の実態を知り、さまざまなテーマで自分の考えをまとめることが、実はあなた自身を理解し、あなたの社会人基礎力を高めることにもなることを実感してもらいます。楽しいですよ！
佐藤	1Q:考え行動する(基礎編)	前半は、大学で主体的に学ぶための「9つの力」を講義と演習を通じ、醸成する。後半は、これらの基礎力をもとに「東北・関東大震災の影響と提言」を研究課題として遂行し、「考え、行動する」力を育む。
	2Q:考え行動する(応用編)	研究課題は1Qと同様とするが、アプローチにおいて「疑問/課題」発見および「解決/提言」のプロセスに重点をおき、より高いレベルの「考え行動する」力を育む。
井形	大学生生活を設計しよう	大学生となったばかりのこの時期に、「大学生生活をいかに過ごすのか」を、じっくり考えてみましょう。4年間は長いようでも、あっというまに過ぎてしまいます。できるだけ悔いを残さない4年間を送るために。
小林(正)	人生を構想してみる！	何を大学で学ぶか。まずは、活躍している未来の自分を構想する。そして、現実の学生としての目標は、未来の自分に方向づけるということの大切さを学ぶ。
片山	「私のおすすめポイント in Kochi」(1Q, 2Q共通)	1Q: 何故自分はこれがおすすめなのかを説明し、周囲の人に印象を与えて記憶に残るようにする方法を模索することで、自己表現や他人への説得力を研究すること。実際に体験してみるということや現場での取材といった行動力も必要とされる。
		2Q:すでにSSを経験しているので、1Qと同じではなく的を絞って「私のおすすめスポット in Kochi」とする観光案内的な部分が多いが、高知県庁のホームページに取り上げてもらえるように中身を作成し、最後はパンフレットをさくせいする。